所属・氏名（医療栄養学部　医療栄養学科　氏名：尾形聡）

	著書、学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
1	《査読付き》 Annual Dialysis Data Report 2014, JSDT Renal Data Registry (JRDR)	共著	2017 年 2 月	Renal Replacement Therapy	日本全国約 4,500 施設に調査票を送付し、2014 年透析新規導入患者と 2014 年 12 月 31 日時点での全透析患者の約 40 項目の臨床検査データを回収。98%以上の回収率で約 32 万人のデータが得られ、それを集計・解析し報告した。（3 巻 21 頁） （Ikuto Masakane, Shigeru Nakai, Satoshi Ogata, Naoki Kimata, Norio Hanafusa, Takayuki Hamano, Kenji Wakai, Atsushi Wada, and Kosaku Nitta） 担当部分の概要：調査の計画と施行、論文原稿全体の最終チェック
2	《査読付き》 わが国の慢性透析療法の現況(2015 年 12 月 31 日現在)	共著	2017 年 1 月	日本透析医学会雑誌	日本全国約 4,500 施設に調査票を送付し、2015 年透析新規導入患者と 2015 年 12 月 31 日時点での全透析患者の約 40 項目の臨床検査データを回収。98%以上の回収率で約 32 万人のデータが得られ、それを集計・解析し報告した。（50 巻 1-62 頁） （政金 生人，谷口 正智，中井 滋，土田 健司，後藤 俊介，和田 篤志，尾形 聡，長谷川 毅，濱野 高行，花房 規男，水口 潤，中元 秀友） 担当部分の概要：調査の計画と施行、論文原稿全体の最終チェック
3	《査読付き》《筆頭論文》 Institutional factors influencing regional differences in the 1-year survival of dialysis patients.	共著	2015 年 10 月	Hemodialysis International	都道府県別透析導入後 1 年生存率に影響する因子について施設に関わる項目など 20 項目にわたって地域相関性や各項目の上位下位による生存率の違いなどを調査した。夜間透析施設数、専従看護師数、専従栄養士数などが生存率と相関していることが示された。(19 巻　S5-10 頁) （Satoshi Ogata, Shinichi Nishi, Kenji Wakai, Norio Hanafusa, Kunitoshi Iseki, Yoshiharu Tsubakihara, Ikuto Masakane） 担当部分の概要：データの収集・原稿の最終チェック以外のデータ解析・論文執筆のすべての頁を担当
4	(著書) 第１章　透析の開始　4. 世界ならびに都道府県別現状	共著	2014 年 6 月	全人力　科学力透析力 for the people 透析医学 医薬ジャーナル社，　大阪	著書全体の概要：透析導入患者の世界の現状・都道府県別現状を示し、高齢者透析導入患者の特徴について言及した。 （総ページ数： 720 頁） （監修　平方秀樹　編者　鶴屋和彦、満生浩司、升谷耕介　谷口正智　発行者　岩見昌和） 担当部分の概要：データの収集・原稿の最終チェック以外の担当部分のデータ解析・執筆のすべてを担当 （担当頁　36-40 頁）
5	《査読付き》《筆頭論文》 Factors associated with the incidence of dialysis.	共著	2013 年 12 月	Clinical and Experimental Nephrology	都道府県別透析導入率に影響する因子について栄養摂取量・気象条件・施設環境など 81 項目にわたって地域相関性を調査した。最終的に多変量解析で 17 項目との相関を認めた。 (17 巻　890-898 頁) （Satoshi Ogata, Shinichi Nishi, Kenji Wakai, Kunitoshi Iseki, Yoshiharu Tsubakihara） 担当部分の概要：データの収集・原稿の最終チェック以外のデータ解析・論文執筆のすべてを担当 （担当頁特定不可能）